

「物質化学類 化学コース」の理念・目標

優れた研究者を養成するとともに、広範な自然科学の素養をもち、社会の様々な分野でのリーダーとして活躍できる人材の育成を目指しています。

特に、物質の性質・構造・反応など原子・分子レベルで解明するための基本原理の探求に挑戦する意欲のある人材の育成を目標としています。

カリキュラムの特徴

導入科目

大学での学習は高校時代とは大きく異なり、戸惑いを感じることも多々あります。導入科目では高校と大学の間の橋渡しを目的とし、これから何をどのように学んでいくのか動機づけを行います。

豊富な実習

学生一人一人に実験台が与えられ、教員と議論をし、化学実験を自ら考えながら行うことで、研究者となるための基礎を身につけます。卒業研究において新分子をつくり、新機能を自分が一番に発見するための基礎を習得できます。

化学のプロを目指して

化学の基礎から応用までの充実した講義と、幅広い化学分野に対する実験・演習が用意されています。更に卒業研究では多くの理化学機器や情報機器を利用し、複数の担当教員と最新の研究テーマに取り組みます。

きめ細やかな教育体制

導入科目や物質化学実験では少人数の教育を実践し、各個人の顔がみえる教育体制をとっています。さらにアドバイス教員制度を敷き、学生生活をしっかりとサポートします。

取得できる学位

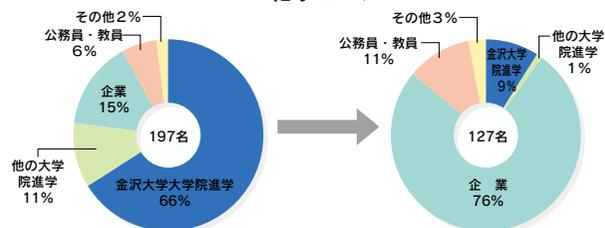
学士(理学)

取得可能な資格

中学校教諭一種(理科)
高等学校教諭一種(理科)
危険物取扱者(甲種)
第一種放射線取扱責任者
X線作業主任者
第一種衛生管理者
特定化学物質作業主任者
有機溶剤作業主任者
酸欠・硫化水素危険作業主任者

就職・進学状況

化学コース



卒業生の進路

博士前期課程修了生の進路

- 多数の化学系企業、薬品会社、医療系企業、食品会社、環境・エネルギー関連企業、電気系企業、機械系企業
- 化学専門職の公務員、教員

学生メッセージ

大学の化学では、さまざまな実験を通して、机上で学んだ反応や現象をより深く理解することができます。ものを合成したり分析したりしますが、新しい何かを発見、達成できたときの喜びは格別です。先生や先輩からアドバイスを受け、仲間と意見を交換し合いながら、失敗を恐れずに実験や研究に取り組み、化学の面白さが見えてくるのではないかと思います。
(平成21年卒、博士前期課程 福嶋 梓)

大学では、高校の化学とは異なりいくつもの分野に分かれていて化学の見方が大きく変わり、おもしろいと感じました。大学の講義や実験では多くの知識を学ぶことができます。高校では実験は決まったことしかできませんでした。大学では実験を自分自身で考えながら進めていけるし、それが勉強にもなります。たまには失敗もしますが、その部分から多くの学べることがあると思います。
(平成21年卒、博士前期課程 堀井 進)

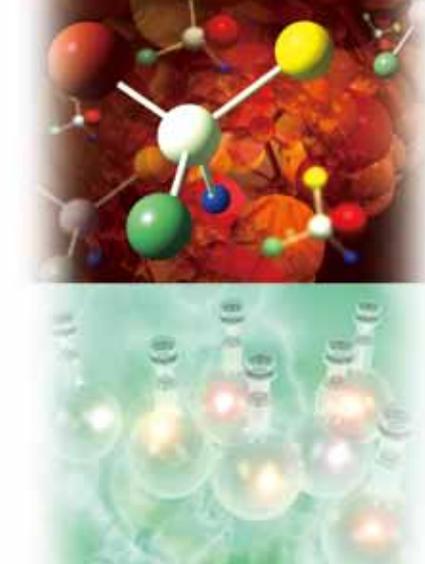
入試案内

本学では一般選抜のみならず、編入学試験や推薦入学など複数の入学試験を実施しております。化学に興味を持つ方、未知分野に対する開拓精神を持つ方はぜひチャレンジしてください。(最新の入試情報は本学のホームページないし、募集要項等でご確認願います)

- 一般選抜(前期【2月下旬】・後期【3月中旬】)
- 特別選抜(推薦入学【11月下旬または12月上旬】)
- 私費外国人留学生・帰国子女(【2月下旬】)
- 編入学(【6月下旬】)

お問い合わせ

〒920-1192 金沢市角間町
金沢大学 理工学域 物質化学類 化学コース
URL <http://chem.s.kanazawa-u.ac.jp/index.html>
E-mail sugayati@cacheibm.s.kanazawa-u.ac.jp



金沢大学 理工学域 物質化学類

化学コース



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY

物質の秘密を解き明かし 分子の世界を探検しよう！

近年、化学はめざましい発展を遂げています。それでも、化学者は未だに自然界の有用な物質の多くを自分の手で作り出すことができていません。また、さまざまな物質の不思議な性質の正体もわからないことがあります。「物質化学類 化学コース」では、このような自然の厚い壁に挑戦していきます。

理工学域 物質化学類 化学コース ～教育システム～



化学コースの研究分野・研究内容

化学コースでは、物質の化学的性質・構造・反応などに関する最も基礎的な原理を解明することを目標とし、次の3つのグループに分かれて研究しています。

